



☆EvaKona

ほくは、この夏休みにニュージーランドに2週間留学しました。今年3月にニュージーランドの説明会があってそれに行きたくなくニュージーランドに行きたくなった。

8月9日ほくは、大学生の人と日本を出た。初めて外国に行くのでドキドキしていた。飛行機ですーとテレビをみていた。そしてニュージーランドのオークランド空港についた。11時間も飛行機に乗ってたので疲れてしまった。そして空港で待っていてたタクシーの運転手に呼ばれて大学生の人と一緒に乗った。ほくたちが行く町まで車で3時間かかった。すごく酔って大変だった。

そして家に着いた。家の人がトランクを持ってきて裏の家に連れてってくれた。そしたらほくと同じ13歳の子がいてその13歳の子の名はサムで意外と背が高く優しい顔をしていた。その日はあまり喋れずに終わっていき、夜になってホストマザーが帰ってきてお土産を渡すすごく喜んでくれたのでよかったです。

次の日学校へ行った。緊張してテスト受けた。難しかった。そして僕のクラスに行った。中国人とサウジアラビア人がいた授業もすべて英語だったのですごく大変だった。でも日本人もいて良かった。

日本を出て四日目サムが学校を休んだ。ほくは学校へ行って宿題の答え合わせしたらほとんど間違えた。すごくがっかりした。

友達ができた。日本人の友達でたかと未来という名前の友達ができた。

五日目クラスに慣れていてだいぶ英語で話せるようになって会話も少しずつできるようになった。二日過ぎて七日目金曜日のアクティビティーでコロマンデロに行った。みんなで買い物をしてそれから汽車のところを行って汽車に乗ってすごくきれいな景色だった。帰って、すぐホストファミリーの人たちと旅行に行った。ドキドキしていた。そ



☆倉知洋平

の町に着いたのは、8時だった。もうすぐ真暗だった。そして町をぬけてすぐのところの家がありもう一つの家があった。ほくは疲れて寝てしまった。



土曜日の朝起きて朝ごはんを食べて外にでたら、近くに馬がいて触ったりしてすごく大きかった。そして町に行った。すごく楽しかった。家に帰りみんなでDVDを見て夕飯を食べて寝た。

日曜日朝だいたい慣れた。そしてホストマザーが病院へ行くと言ってホストマザーの実家に行きたくてサムをおいて病院へ行った。ほくとサムでPS2をやっていた。楽しかった。すごくホストマザーのお母さんとお父さんが優しくすごくよかった。そして4時間が過ぎてホストマザーが帰ってきた。そして車で5時間本当の家に帰ってきた。この二日すごく楽しかった。

そして三日後の木曜日の友達のサウジアラビア人の子が国に帰ってしまし、僕と大学生の人ともう一人の女の人も帰るから、学校でみんなの前でスピーチをすることになった。そして緊張したけどなんとかうまくスピーチができたのでよかったです。

最後の金曜日のアクティビティーでペイントボールをやってすごく痛かったけど楽しかった。そして夜前の家は学校の先生の家でその先生にパーティーをやるから来ないかと言われてそして夜パーティーに行った。ジャパニーズパーティーですごく楽しかった。最後の日にこんないい思い出ができてよかったです。

ほくは最初英語全然話すことができないから怖かったけど1週間ぐらいたっただいぶ慣れてきてもう日本に帰るのが嫌になってしまった。こんないい経験がこんなに早くできるなんてほくは、すごく報われているなあと思った。また行く機会があったら行きたいです。



私は今年もまたこの地に降り立ちました。NZ,Whitianga行き先は去年と同じ、目的もまたしかり。去年ほど長い期間では行けなため短い時間でどれだけ価値のある体験・学習ができるか、と出発前に自分を見つめなおしました。そして出てきた答え、それは「英語のシャワー」を浴びるのではなく、「英語の滝つぼで抗い続ける」ことです。それはつまり、「積極的にネイティブとの会話を持つ」「思考からできるだけ日本語で考えないようにする」「英語でアウトプットできる環境を見つけ、できるだけそこに留まる」ということです。これを自分ルールとし2週間のNZの留学へ出発しました。

留学先はもちろん前回と同様、EvaKonaフィティアンガという小さな町にある語学学校です。この語学学校は主に日本人の留学受け入れが多くスタッフの中にも数人の日本人がおり、初めての留学を考えてる方にも安心してEnglish lifeを楽しめます。また、このフィティアンガという町も魅力的です。人々はみな温かな方で親切に接してくれます。学校からの帰り道、はだして町を歩いている子供の姿も見ることができるよう、穏かな雰囲気にも包まれた町です。それと同時に、ここはNZの人々が訪れる観光地でもあり、市街地にはツーリストオフィスやおみやげ物を買えるお店などもあつた。何度か訪れたくなる理由の一つです。

今回、私の英語クラスはupper immediateという最も上のランクに入ることができました。前は下から数えて2番目のクラスだったので、自分の英語力が成長できているなど、すこし



☆立松貴央

うれしく感じました。このEvaKonaにいる講師人もまた長く英語指導を経験された方が多く、毎回楽しみながら英語を学べます。

さて続いて留学前に定めた自分ルールをどのように実践していったかについてここに記します。「英語の滝つぼで抗い続ける」ということですが、私が実践したこと、それは「ホームステイ先のホストファミリーとの交流時間を生活の主軸に置く」「目の前から日本語を取り払う(日本語のあるものはカバンにしまう)」「生活は、まるで現地の人のそれらしく振舞って過ごす」です。自分が日本人だという自覚や、日本語を使用すること、日本人らしい生活を送ることをできるだけ控え、2週間だけでもニュージーランド人かのようになる。その生活を送ることで、英語で物事を考える癖(英語脳)を身につけられれば、スピーキングやリスニングのスキルも上がるであろうと考えました。こうして、あつという間に2週間が過ぎ、今日日本に帰ってきました。

そして来月、帰国後初のTOEICテストを受けます。前は1ヶ月の滞在で100点ほど伸ばすことができました。今回は留学の成果をTOEICのスコアに示したいと思います。



New Zealand の感想 ☆藤城なぎさ

私は7月20日に初めて海外に行きました。緊張はしませんでした。楽しみしかなかったです。人ははじょうきょうによって、変わる事を知りました。だって私が行ったホームステイの家族は、正直なじみずらかったです。子供がいない方がいって言ったのに!とみちを少しうらみしました。

一度、なじみずらいなあって思ったら、そのステイ先の短所ばかり目についちゃって、ブルーになりました。その時これがホームシックなんだと悟りました。ホームシックにならない自信があつたけど無理でした。



☆藤城なぎさ



England 便利 ☆木原涼子

私がNorwichについてはや4ヶ月。イギリスの空は曇ってばかりなので、今が夏ということすっかり忘れてしまっている今日この頃…。季節の巡りと1日が過ぎる早さに驚きながらも、人生初の異国での生活を満喫しているさなかなのです。日本にいる頃文法と単語を只ひたすら暗記するだけの受験英語が大嫌いで、英語が楽しいなんて一度も思ったことなんてありませんでしたが、なぜか英語が話せるようになりたいという漠然とした思いがあつたからイギリスにきてみて、今は毎日英語での授業を受けながらコミュニケーションをとっているなんて、やっぱり私って環境適応型だなと感じているのです。そして自分でもびっくりするのが、ほんとに英語の勉強が楽しいって思えるところなのです。イギリスは本当にいい所です。私の住んでいるNorwichは自然も多く小さな街だけど、ぶらぶら歩いているとたくさんの建物たちが1つ1つ本当にかわいいのです。ICSはサマーコースも最終にさしかかかって、またこじんまりとしたICSに戻りつつあります。ここに来てたくさんの国の友達ができました。それと同時に様々な文化と触れ合う中で自分の無知さに気づくこともしばしば…。だからここで勉強していることは英語だけではなくすべてが新しいことでほんとに楽しいです。



☆木原涼子



England 便利 ☆山田淳

ICS, a English language school, is located in Norwich, Norfolk, England. According to the internet there are four other school in the city in total.

I studied English at another school in Ireland last year. I feel ICS is a unique school, set part from the others. There are some reasons why the school is different. First its size. Compared with my previous school it's rather small and therefore well managed. But above all, one person makes all the difference to the school. The person is the Director of studies, Ms. Helen Goroski. She had a lovely outlook. She is in her early 50's and is a slim English lady. She sounds quite normal and ordinary. But once you meet her you'll soon find out more about her, especially about her character. Her air is gentle and warm. Her manner of speaking is controlled and cautious. I have never heard her say anything offensive or speak ill of anyone. She's sympathetic and a good listener with a good humour. People are the foundation of a country and in this sense it is definitely she who is the foundation of the school. In other words, if I may be honest, she's the school's best facility. There are other good things about the school, including the teachers and the rest of the staff. Especially Ms Annette Sinden who sits in the office. If you visit the school and she is there you'll be welcomed by her nice warm smile. On drawback is the school building. Due to its age the stairs are quite steep and hard to climb if you have a difficulty walking. But apart from that this is quite a good school.



☆山田淳

でも、その後、EvaKonaのあずみさんに電話して、ご飯を食べたらなりました。その後、ステイ先のケイシユンが部屋に遊びにきてくれたり、キャシーがココアをくれたりして、最後の方とはすごく仲良しになりました。それと、私を悩ませた事が一つありました。私は2週間のうち、一週間はEvaKona、二週目は現地の学校に行く事になっていました。EvaKonaがとても楽しかったので、現地の学校はあまり行きたくなかったです。でもどうしても行かなければならなかったんで、行きました。一日目はいろいろ見られたけど2日目からは楽しかったです。その現地の学校には中学1年でそこに入った女の子がいました。その子はすごい英語がうまくて、その学校の子たちとかともすごい仲良くて、私にも優しく、すごい子だなあと思いました。私もその子みたいになりたいので、がんばります。